

V. 帰国生選抜

1. 出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外在留という事情により外国の学校教育を受けた者（保護者との同伴期間は1年以上とし、その後の単身滞在期間は2年以内の者）のうち、次の(1)～(5)のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育における12年の課程のうち、外国において最終を含む2年以上をその国の教育制度に基づく高等学校に継続して在籍し、令和2年（2020年）4月1日から令和4年（2022年）3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (2) 令和2年（2020年）4月1日から令和4年（2022年）3月31日までに日本の高等学校もしくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者で、日本の教育制度の中学校及び高等学校もしくは中等教育学校に相当する期間のうち、外国においてその国の教育制度に基づく中学校から高等学校までの課程に通算3年以上在籍した者。ただし、日本の高等学校もしくは中等教育学校後期課程在籍期間は2年以内の者
- (3) 外国において、令和2年（2020年）4月1日から令和4年（2022年）3月31日までに次の資格を取得した者
 - ① スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - ② ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ③ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - ④ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格
- (4) 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程に、最終を含む2年以上継続して在籍し、令和2年（2020年）4月1日から令和4年（2022年）3月31日までに当該課程を修了又は修了見込みの者
- (5) 令和2年（2020年）4月1日から令和4年（2022年）3月31日までに日本の高等学校もしくは中等教育学校を卒業又は卒業見込みの者で、日本の教育制度の中学校及び高等学校もしくは中等教育学校に相当する期間のうち、外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に通算3年以上在籍した者。ただし、日本の高等学校もしくは中等教育学校後期課程在籍期間は2年以内の者

(注1) 上記(1)及び(2)については、外国に設置された学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとみなされない。

(注2) 出願資格について疑問のある場合は、学歴等を記載のうえ、出願前に入試課へ郵便で照会すること。その際、返信用封筒（長形3号の封筒に必ず日本国内の連絡先の郵便番号、住所、氏名を記入し、84円分の切手を貼る）を同封すること。

2. 出願期間

令和3年（2021年）12月21日（火）から令和3年（2021年）12月23日（木）まで

ただし、出願期間後に到着した場合でも、12月22日以前の発信局消印（日本国内に限る）のある「書留速達」に限り受理する。

3. 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、東京学芸大学入学試験の成績及び出願書類を総合して判定する。

なお、東京学芸大学入学試験の成績では学力の3要素の全て及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。出願書類では主に学力の3要素のうち「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」及び「教員又は教育支援人材への意欲・適性」を評価する。

4. 東京学芸大学入学試験の日程・出題教科・科目等

(1) 日程

令和4年(2022年)2月25日(金)から令和4年(2022年)2月26日(土)まで

(2) 出題教科・科目等

① 面接

志願者全員に面接(日本語の個人面接)を課す。ただし、A・B類英語は、英語による面接を含む。

A類ものづくり技術選修・B類技術専攻は、口頭試問を含む。また、作品や、それを提示するための資料等の持込を不可とする。

面接日時は、志願者宛に別途通知する。

② 面接を除く出題教科・科目等

課程(類)	選修・専攻・コース	日程	出題教科	出題科目(出題範囲)	受験科目数	摘要	
初等教育教員養成課程(A類)	国語選修	2月25日(金)	国語	国語現代文 国語古文 国語古典	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5	
			小論文	文	◎		
	社会選修	2月25日(金)	小論文	文	◎	1	
			数学選修	2月25日(金)	小論文	文	◎
	数学	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学A 数学B			◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5	
	理科選修	2月25日(金)	理科	物理学基礎 化学基礎 地学基礎	◎ ◎ ◎	1	理科の上欄のグループ(4科目) から1科目と下欄のグループ(4 科目)から1科目の計2科目選択 ただし、上欄のグループから選択 する科目の分野と下欄のグループ から選択する科目の分野は異なる こと
				物理学基礎 化学基礎 地学基礎	◎ ◎ ◎		
			小論文	文	◎	1	小論文は必須科目
	音楽選修	2月25日(金) 2月26日(土)	共通試験 (楽典、聴音、新曲視唱)	◎	2	共通試験及び音楽実技の内容は、 56ページ参照	
			音楽実技	◎			
	美術選修	2月25日(金)	図工・美術実技(選択問題)	◎	1	図工・美術実技の内容は、56ページ 参照	
			小論文	文	◎		1
	保健体育選修	2月25日(金) 2月26日(土)	体育実技	◎	1	体育実技の内容は、56ページ参照	
			小論文	文	◎		1
	家庭選修	2月25日(金)	小論文	文	◎	1	
	英語選修	2月25日(金)	外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ (ディクテーションを含む)	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5	
				小論文	文		
	学校教育選修	2月25日(金)	小論文	文	◎	1	
	学校心理選修	2月25日(金)	小論文	文	◎	1	
	国際教育選修	2月25日(金)	小論文	文	◎	1	
情報教育選修	2月25日(金)	小論文	文	◎	1	数学Aは、場合の数と確率、 整数の性質、図形の性質 数学Bは、数列、ベクトル	
		数学	数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学A 数学B	◎ ◎ ◎ ◎ ◎			5
環境教育選修	2月25日(金)	小論文	文	◎	1		

(注) 出題科目の◎印は必須科目を、○印は選択科目を示す。

課程(類)	選修・専攻・コース	日程	出題教科	出題科目(出題範囲)	受験科目数	摘要		
初等教育教員養成課程(A類)	ものづくり技術選修	2月25日(金)	小	論 文	◎	1		
	幼児教育選修	2月25日(金)	小	論 文	◎	1		
			実 技	(音楽素質検査)	◎	1	実技(音楽素質検査)の内容は、56ページ参照	
中等教育教員養成課程(B類)	国 語 専 攻	2月25日(金)	国 語	国語総合 現代文A 現代文B 古典A 古典B	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5		
			小	論 文	◎	1		
	社 会 専 攻	2月25日(金)	小	論 文	◎	1		
	数 学 専 攻	2月25日(金)	小	論 文	◎	1		
			数 学	数学I 数学II 数学III 数学A 数学B	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5	数学Aは、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質 数学Bは、数列、ベクトル	
	理 科 専 攻	2月25日(金)	理 科	物 理 基 礎	基礎基礎基礎	○ ○ ○ ○	1	理科の上欄のグループ(4科目)から1科目と下欄のグループ(4科目)から1科目の計2科目選択ただし、上欄のグループから選択する科目の分野と下欄のグループから選択する科目の分野は異なること
				化 学 基 礎	基礎基礎基礎	○ ○ ○	1	
			小	論 文	◎	1	小論文は必須科目	
	音 楽 専 攻	2月25日(金)	共 通 試 験	(楽典、聴音、新曲視唱)	◎	2	共通試験及び音楽実技の内容は、56ページ参照	
		2月26日(土)	小	論 文	◎	1		
	美 術 専 攻	2月25日(金)	美 術 実 技	(選択問題)	◎	1	美術実技の内容は、56ページ参照	
			小	論 文	◎	1		
	保 健 体 育 専 攻	2月25日(金)	体 育 実 技		◎	1	体育実技の内容は、56ページ参照	
		2月26日(土)	小	論 文	◎	1		
	家 庭 専 攻	2月25日(金)	小	論 文	◎	1		
技 術 専 攻	2月25日(金)	小	論 文	◎	1			
英 語 専 攻	2月25日(金)	外国語(英語)	コミュニケーション英語I コミュニケーション英語II コミュニケーション英語III 英語表現I 英語表現II (ディクテーションを含む)	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5			
			小	論 文	◎	1		
書 道 専 攻	2月25日(金)	国 語	国語総合 現代文A 現代文B 古典A 古典B	◎ ◎ ◎ ◎ ◎	5			
			書 道 実 技	・書道理論	◎	1	書道実技・書道理論の内容は、56ページ参照	
	2月26日(土)	小	論 文	◎	1			
特別支援教育教員養成課程(C類)	2月25日(金)	小	論 文	◎	1			

(注) 出題科目の◎印は必須科目を、○印は選択科目を示す。

課程(類)	選修・専攻・コース	日 程	出題教科	出題科目 (出題範囲)	受 験 科目数	摘 要	
養成課程(D類) 養護教育教員	養護教育専攻	2月25日(金)	小	論 文	◎ 1		
	教育支援専攻 生涯学習コース	2月25日(金)	小	論 文	◎ 1		
教育支援課程(E類)	教育支援専攻 カウンセリングコース	2月25日(金)	小	論 文	◎ 1		
	教育支援専攻 ソーシャルワークコース	2月25日(金)	小	論 文	◎ 1		
	教育支援専攻 多文化共生教育コース	2月25日(金)	小	論 文	◎ 1		
	教育支援専攻 情報教育コース	2月25日(金)	小	論 文	◎ 1	5	数学Aは、場合の数と確率、 整数の性質、図形の性質 数学Bは、数列、ベクトル
			数 学	数 数 数 数	学 学 学 学		
	教育支援専攻 表現教育コース	2月25日(金)	小	論 文	◎ 1		
	教育支援専攻 生涯スポーツコース	2月25日(金)	体	育 実 技	◎ 1	1	体育実技の内容は、56ページ参照
2月26日(土)		小	論 文	◎ 1			

(注) 出題科目の◎印は必須科目を、○印は選択科目を示す。

5. 小論文の概要

(1) A類国語選修, B類国語専攻

国語に関する課題を提示し、理解力・表現力等を評価する。

(2) A類社会選修, B類社会専攻

社会現象に関する課題等を提示し、それについて論述させる。読解力・論理的思考力・構成力・表現力等、基礎的な能力を総合的に評価する。

(3) A類数学選修, B類数学専攻

数学に関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(4) A類理科選修, B類理科専攻

アドミッションポリシーを踏まえた理科に関する課題を提示して、論述させ、理解力・論理性・表現力等を評価するとともに、教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(5) A類音楽選修, B類音楽専攻

日本語の理解力と表現力、及び音楽と音楽教育に関して理論的に思考し、文章を構成することができるかどうかを判断する。

(6) A類美術選修, B類美術専攻

美術文化とのかかわりに関する課題を提示して論述させ、思考力・洞察力・表現力等を評価する。

(7) A類保健体育選修, B類保健体育専攻

保健体育に関する課題を提示して論述させ、洞察力、論理的な思考力、日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。

(8) A類家庭選修, B類家庭専攻

生活科学分野に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(9) A類英語選修, B類英語専攻

言語・社会・文化・教育などの諸相に関する課題を提示して、論述させ、理解力・分析力・論理構成力・表現力等を見る。知識・技能、思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。

(10) A類学校教育選修

学校内外の教育に関する諸問題について、その理解力・分析力・表現力等を総合的に評価する。

(11) A類学校心理選修

学校内外の諸問題について論述させ、教員への意欲・適性及び論理構成力・表現力等を総合的に評価する。

(12) A類国際教育選修

国際教育に関する諸問題について、その理解力・論理構成力・発想力等をみる。

(13) A類情報教育選修

論理的な思考力、日本語力、及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。

(14) A類環境教育選修

アドミッションポリシーを踏まえた課題を提示して、論述させ、課題に対する理解力・分析力を総合的に評価するとともに、教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価する。

(15) A類ものづくり技術選修, B類技術専攻

ものづくり・科学技術・教育に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・論理構成力・表現力等を評価する。

(16) A類幼児教育選修

幼児の発達や教育に関する課題を提示して、論述させ、基礎的な知識・理解力・文章構成力・表現力等を評価する。

(17) B類書道専攻

書写・書道教育に関する理論や実践等についての基礎的事項の理解力・思考力及び書字力を評価する。

- (18) **C類特別支援教育教員養成課程**
 教育や障がいに関する課題を提示して、論述させ、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (19) **D類養護教育専攻**
 社会における健康課題に関する課題を提示して、論述させ、関心の度合いと論理的な思考力・表現力等を総合的に評価するとともに、アドミッションポリシーで求める教員への意欲・適性及び主体的に多様な人々と協働して学ぶ態度等も評価する。
- (20) **E類教育支援専攻生涯学習コース**
 生涯学習に関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理構成力・表現力等を総合的に評価する。
- (21) **E類教育支援専攻カウンセリングコース**
 学校内外の諸問題について論述させ、論理構成力・表現力などを総合的に評価する。
- (22) **E類教育支援専攻ソーシャルワークコース**
 社会福祉に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。
- (23) **E類教育支援専攻多文化共生教育コース**
 異文化理解に関する論考又は資料を提示して、分析・論述させ、理解力・思考力・表現力などを総合的に評価する。
- (24) **E類教育支援専攻情報教育コース**
 論理的な思考力、日本語力、及び情報に関する基礎知識を総合的に評価する。
- (25) **E類教育支援専攻表現教育コース**
 芸術作品の表現に関する基礎的知識・理解力・洞察力などを問うことにより、志願者それぞれの独創性・創造性・表現力・思考力の有無を判断するとともに、アドミッションポリシーで求める教育支援職への意欲・適性及び主体性等を評価する。
- (26) **E類教育支援専攻生涯スポーツコース**
 生涯スポーツに関する課題を提示して、論述させ、洞察力・論理的な思考力・日本語能力を含む基礎的な学力等を総合的に評価する。

6. 実技試験等の内容

(1) A類美術選修対象

一般選抜の「図工・美術実技（選択問題）の内容」と同じ（31ページ参照）

(2) B類美術専攻対象

一般選抜の「美術実技（選択問題）の内容」と同じ（31ページ参照）

(3) A類保健体育選修・B類保健体育専攻・E類教育支援専攻生涯スポーツコース対象

一般選抜の「体育実技の内容」と同じ（31ページ参照）

(4) A類幼児教育選修対象

一般選抜の「幼児教育の実技（音楽素質検査）の内容」と同じ（32ページ参照）

(5) B類書道専攻対象

一般選抜の「書道実技・書道理論の内容」と同じ（32ページ参照）

(6) A類音楽選修・B類音楽専攻対象

一般選抜（前期日程）の「音楽の共通試験及び音楽実技の内容」と同じ

① A類音楽選修（33・34ページ参照）

② B類音楽専攻（33・35～37ページ参照）

(注) B類音楽専攻では、声楽、ピアノ、管弦打楽器、作曲、音楽学の5つの専門分野から、希望する専門分野に対応した課題を選択して受験すること。

7. 配点一覧表

課程(類)	選修・専攻・コース	帰国生選抜			
		面接	小論文	学力試験	実技試験
初等教育教員養成課程 (A類)	国語選修	100	100	100	—
	社会選修	100	200	—	—
	数学選修	100	100	100	—
	理科選修	100	100	*200	—
	音楽選修	100	100	—	*300
	美術選修	100	100	—	100
	保健体育選修	100	100	—	100
	家庭選修	100	200	—	—
	英語選修	100	100	100	—
	学校教育選修	100	200	—	—
	学校心理選修	100	200	—	—
	国際教育選修	100	200	—	—
	情報教育選修	100	100	100	—
	環境教育選修	100	200	—	—
	ものづくり技術選修	100	200	—	—
幼児教育選修	150	100	—	50	
中等教育教員養成課程 (B類)	国語専攻	100	100	100	—
	社会専攻	100	200	—	—
	数学専攻	100	100	100	—
	理科専攻	100	100	*200	—
	音楽専攻	100	100	—	*300
	美術専攻	100	100	—	200
	保健体育専攻	100	100	—	100
	家庭専攻	100	200	—	—
	技術専攻	100	200	—	—
	英語専攻	100	100	100	—
	書道専攻	100	100	100	100
特別支援教育教員養成課程 (C類)		100	200	—	—
養護教育教員養成課程 (D類)	養護教育専攻	100	200	—	—
教育支援課程 (E類)	教育支援専攻 生涯学習コース	100	200	—	—
	教育支援専攻 カウンセリングコース	100	200	—	—
	教育支援専攻 ソーシャルワークコース	100	200	—	—
	教育支援専攻 多文化共生教育コース	100	200	—	—
	教育支援専攻 情報教育コース	100	100	100	—
	教育支援専攻 表現教育コース	100	200	—	—
	教育支援専攻 生涯スポーツコース	100	100	—	100

(注) *印は2科目の合計点を示す。